景気の動き

四　国（地域経済報告 －さくらレポート－・日本銀行）

項　目	10月判断	前回（7月判断）
総括判断	四国地域の景気は、持ち直している。	緩やかに持ち直している。
公共投資	持ち直している	同左
設備投資	増加している	同左
個人消費	持ち直している	同左
住宅投資	弱い動きとなっている	同左
生　　産	緩やかに持ち直している	横ばい圏内の動きとなっている
雇用・所得動向	緩やかに改善している	同左

〔日本銀行　2026年10月 8 日発表〕

全　国（月例経済報告・内閣府）

項　目		10月月例	9月月例
基調判断		景気は、緩やかに回復しているが、中東情勢の影響を注視する必要がある。（先行きについては、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されるものの、中東情勢の影響を注視する必要がある。また、金融資本市場の変動の影響などに注意する必要がある。）	景気は、緩やかに回復しているが、中東情勢や自然災害の影響を注視する必要がある。
個人消費		持ち直しの動きがみられる	同左
設備投資		持ち直している	同左
住宅建設		総じて横ばいとなっている	同左
公共投資		底堅く推移している	同左
輸出入	輸出	このところ持ち直しの動きに足踏みがみられる	持ち直しの動きがみられる
	輸入	おおむね横ばいとなっている	同左
	貿易・サービス収支	赤字となっている	同左
生　　産		総じてみれば持ち直しの動きがみられる	同左
企　業	収益	改善しているが、中東情勢の影響を注視する必要がある	同左
	業況判断	全体としては改善の動きがみられる。ただし、中東情勢の影響を引き続き注視する必要がある	おおむね横ばいとなっている。ただし、先行きについてはやや慎重な見方となっており、中東情勢の影響を注視する必要がある
	倒産件数	おおむね横ばいとなっている	同左
雇用情勢		改善の動きがみられる	同左
物　価	国内企業物価	このところ横ばいとなっている	このところ上昇テンポが鈍化している
	消費者物価	このところ上昇している	緩やかに上昇している

〔内閣府　2026年10月27日発表〕